

## 令和元年度(平成31年度)事業報告書

令和元年度は希望に満ちた新時代の幕開けとなりましたが、地球温暖化の懸念とともに、観測史上初とも言われる規模の大雨や強風による被害も頻発し、改めて災害に対する平時の備えの重要性と安定した事業継続に必要な基盤整備の必要性が再認識されました。また、昨年10月には消費税増税が断行され、牛肉消費需要の落ち込みにより枝肉価格が低迷し、さらに1月には日米貿易協定が発効し、国内市場の先行き不透明感が増す中で、年度末にかけて新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、和牛経営のみならず世界経済にまで大きな影響を及ぼしました。

一方で、昨年、国の方では10年先を見据えた酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針及び家畜改良増殖目標の見直しが行われました。巨大な自由貿易圏の誕生により物と情報の激しい国際競争時代に入ったことを踏まえ、更なる農業競争力強化を図るため、生産基盤強化と担い手確保とともに、経営の持続性に配慮したより収益性の高い安定的経営の実現に向けて取り組んでいくこととされました。

このような社会経済環境の中で牛肉生産を担う新たな和牛、和牛新時代にふさわしい効率的生産を共進会の改良増殖上の目標として盛り込んだ第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会について、最終比較審査会場出品頭数割当と共進会規則を決定しました。鹿児島大会は前回大会から参加道府県が2県増えて41道府県となり、また、新設された高校及び農業大学校の部への参加は25道県と拡がり、地域毎の切磋琢磨と農業教育を通じた和牛への関心の高まりによって、地域かがやく和牛づくりへの気運醸成につながりました。

登録事業については、各種の生産基盤強化対策が功を奏し、基本本原登録頭数76,425頭(前年対比103.6%)と2,683頭増え、年間の新規登録頭数としては6年連続で増加となりました。さらに、高等登録についても1,616頭と前年対比106.4%で産肉能力と種牛能力を兼備した優良雌牛保留が進みました。また、子牛登記頭数は498,450頭(前年対比102.3%)と受精卵産子の増加とも相俟って、比較的順調に推移しました。また、登録事務においては、利便性と汎用性を高めた支部端末システムを新しく構築し、新年度から順次運用が始まります。

育種改良事業については、既に定着した育種価評価の利活用により、各地域で産肉能力優秀な種雄牛が続々と造成され、現場後代検定合同調査会においてもその実力が確認されました。また、同調査会における枝肉研究会やシンポジウムでは、牛肉の新たな価値観の醸成に向けた研修を行い、食味に関する脂肪の質改良体制の構築について検討しました。さらに、全国的な関心の高まりを見せるゲノミック評価については、改良が比較的難しい飼料利用性や繁殖性などの生産効率に係る形質の遺伝的評価において活用を検討するとともに、各県単位で実施されているゲノミック評価については、県からの委託を受けて対象となる集団の遺伝的特性等を加味して検証作業を行いました。また、遺伝的多様性に配慮した種牛造成については育種組合を中心とした取り組みが進められ、地域ブランド戦略の

構築とともに一層の拡充が求められました。和牛改良組合については、全国の中で繁殖成績優秀な改良組合を 20 組合表彰し、生産性向上の重要性を発信しました。さらに、昨年は新たに 2 組合が承認され、全国の改良組合は 446 組合となりました。なお、ブロック別に改良組合育成強化研修会を計画しましたが、台風被害や豚コレラ蔓延防止の関係で 2 ブロックの開催が見送られ、女性部研修会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止を余儀なくされました。

一方で、長年の改良により付加価値の高まった和牛遺伝資源については、より一層の厳重な取り扱いが求められており、国の方では国内での適正な流通管理や保護を目的とした関連法改正などの整備が進められました。また、和牛遺伝資源の適正な流通管理と保護については、優良和牛遺伝子保留中央協議会や和牛遺伝資源国内活用協議会とも連携をとりつつ、会員に対して改めて理解と協力を求めました。

技術者等養成研修事業については、認定講習会、和牛入門ゼミナール並びにブロック別地方審査委員会などを予定どおり開催し、育種・改良問題セミナーでは、和牛におけるゲノミック評価の利用等について研修を実施しました。また、消費税率の引き上げと同時に消費税軽減税率制度が実施されたことを踏まえ、適正な会計事務を推進するため、支部支所職員を対象とした会計研修会を行いました。

運営管理の部については、会員数は 46,909 名（前年対比 96.7%）で 1,583 名の減となり、高齢化並びに担い手不足による会員の減少は進んでおり、担い手確保は喫緊の課題となっています。また、定款第 13 条に基づく社員選挙を実施し、60 名の社員が選出されました。この他の事業につきましては、会員はじめ各支部・支所並びに委託団体の協力により予定通り実施することができました。

## I. 事業の部

### 1. 登録・検定事業

#### 1) 登記・登録頭数

本年度の登録頭数は総計 78,041 頭（前年度比 103.7%）、前年度実績比 2,780 頭の増加でした。

種 類	基本登録 (雄・雌含)	本原登録 (雄・雌含)	高等登録 (雄・雌含)	計 (前年度比)
黒毛和種	44,459	31,823	1,616	77,898 (103.7)
褐毛和種	121	11	0	132 (109.1)
無角和種	11	0	0	11 (220.0)
計 (前年度比)	44,591 (106.4)	31,834 (100.0)	1,616 (106.4)	78,041 (103.7)
前年度実績	41,910	31,832	1,519	75,261

子牛登記頭数は 498,450 頭（前年度比 102.3%）で、前年度実績比 11,163 頭の増加でした。また、血統証明書発行件数は 3,139 件（前年度比 98.2%）でした。

## 2) 種雄牛の各種検定及び遺伝子型調査について

本年度実施された種雄牛の各種検定並びに遺伝子型調査は次のとおりでした。

なお、遺伝子型調査においては、和牛DNAデータベースを活用したSNP情報による遺伝子型調査を実施しました。

	今年度実績	前年度実績	前年度比
産子検定	0 件	0 件	( 0.0%)
産肉能力検定 直接法	84 件	95 件	( 88.4%)
〃 間接法	0 件	0 件	( 0.0%)
現場後代検定法	101 件	111 件	( 91.0%)
遺伝子型調査	66,922 件	57,696 件	( 116.0%)
〃 (再交付)	1,662 件	1,576 件	( 105.5%)
〃 (不良形質)	467 件	595 件	( 78.5%)

## 3) 現場後代検定合同調査会の開催について

各道府県における特徴ある種雄牛造成の推進及び若い種雄牛の発掘を目的に、令和2年2月13日～14日の間、京都府京都市において現場後代検定合同調査会を開催しました。9道県から11頭の種雄牛の後代32頭(去勢20頭、雌12頭)が出品されました。また、シンポジウムは、「新たな牛肉の価値観の醸成に向けて」というテーマを掲げて開催しました。なお、各県で開催された県内版現場後代検定枝肉調査会にも必要に応じて助成並びに指導を行いました。

## 2. 育種改良事業

### 1) 集団育種事業の推進と現地調査及び指導・援助

育種組合の現地検討会及びミニ現地検討会を以下のとおり実施し、遺伝的多様性の維持・拡大を狙いとした系統再構築の進捗状況の確認を行い、育種候補牛の選定、計画交配など、各育種組合の実情を踏まえて調査、指導を行いました。育種牛認定頭数は雄24頭、雌572頭(新規410頭、再認定162頭)となりました。

三戸(6/14)、県南(11/21)、いわて和牛中央(11/22)、福島県(8/29)、淡路(8/20)、城崎(8/21)、美方郡(8/22)、能義(7/8、11/5)、仁多(7/9)、壱岐市(2/16)、北松地区(2/17)、五島(2/18)、肝属(12/10)、曾於(12/11)、始良(12/12)、鹿児島中央(2/25)、薩摩(2/26)

### 2) 和牛改良組合の育成強化

新規認定並びに合併や地域拡大の申請のあった組合について、和牛改良組合強化委員会においてその内容を審議し、認定を行いました。認定和牛改良組合数は446組合となりました。また、効率的な和牛生産が求められている中で、改良組合における分娩間隔短縮への取り組みが重要となっています。これらの取り組みが、更なる改良組合の活動強化と組織の育成強化につながり、繁殖基盤の拡充につながるよう、改良組合に関する行事を以下のとおり実施しました。

#### (1) 和牛改良組合育成強化研修会の開催

本研修会は、講義や事例発表により、和牛改良の知識の取得と和牛改良組合の小集団活動のあり方や個々の農業経営強化に努めるとともに、改良組合間の交流を深めることを目的として開催し、改良組合が抱えている問題点の解決の一助となりました。東部地区、中部地区については、台風被害やCSFにより開催を中止し、中四国地区、九州地区で下記の通り開催しました。

地 区	会 場	期 日	参加者数
中四国地区	香川県琴平町・綾川町	9/19～20	87名
九州地区	熊本県人吉市・錦町	10/31～11/1	59名

#### (2) 和牛改良組合女性部研修会

和牛改良組合の女性部を対象に、和牛改良の知識習得を図り、和牛生産を支える女性の交流を深めることを目的とする研修会の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため今年度は開催を中止しました。

#### (3) 支部主催和牛振興研修会への協力

本会支部主催の和牛振興研修会の開催に対し、合計16回の開催助成と講師の派遣を行いました。

#### (4) 認定和牛改良組合の表彰

「認定和牛改良組合および育種組合表彰規程」に基づき、改良組合活動に優れ、顕著な功績があったと認められる組合に対して表彰を行いました。今年度は、改良組合として繁殖成績優秀な組合を対象とし、分娩間隔実績値の部15組合、分娩間隔・飼養管理技術の部5組合が表彰されました。

### 3) 各種遺伝情報の解析とその有効利用について

本年度も各種遺伝情報の解析とその利用システムの普及に努めました。また、産肉情報については支部独自の情報収集と併せて、国の行う産肉情報収集にかかわる事業についても取り組みました。牛肉の美味しさに関する調査については、「和牛の遺伝的多様性等活用調査研究事業」「牛肉のうま味成分高付加価値化推進調査研究事業」等を利用して、随時サンプリングを実施しました。また、SNP情報を用いた遺伝的多様性の検討や経済形質にかかわる育種・改良方法の検討を行うために和牛DNAデータベースの構築に努めました。

なお、本年度は産肉情報入力0件（本会入力のみ、その他収集枝肉情報83,558件）、情報解析（年間）15件、情報解析（1回）42件でした。

### 4) 優良和牛遺伝子の保留強化

優良和牛遺伝子保留中央協議会と連携して育種価に基づく高能力牛の保留を強化するとともに、生産者・関係者が一丸となって和牛遺伝子（DNA）の保護・管理を行える体制づくりに努め、和牛遺伝資源国内活用協議会の活動に協力し、和牛の遺伝資源としての重要性について啓発・普及活動に取り組みました。

5) 各種委員会について

中央審査委員会	平成 31 年 4 月 19 日
育種推進委員会	令和元年 6 月 20 日
産肉能力検定委員会	令和 2 年 1 月 24 日
産肉能力検定小委員会	令和元年 5 月 8 日、令和元年 9 月 26 日
和牛改良組合強化委員会	令和 2 年 1 月 23 日

3. 技術者等養成研修事業

1) 地方審査委員認定講習会の開催について

各ブロック内の支部の協力により下記のとおり 3 会場で開催し、審査委員の養成と登録業務の円滑化に努めました。

回次	期間	会場	受講者数
第211回	8/26～8/28	宮城県遠田郡美里町 全農宮城県本部みやぎ総合家畜市場	22名
第212回	11/12～11/14	島根県出雲市 島根県畜産技術センター	21名
第213回	12/3～12/5	鹿児島県鹿屋市 肝属中央家畜市場	37名

2) 登記検査委員認定講習会の開催について

本部主催の登記検査委員認定講習会について下記のとおり実施しました。

回次	期間	会場	受講者数
第17回	4/22～4/24	兵庫県加西市 神戸大学大学院農学研究科 附属食資源教育研究センター	28名
第18回	5/15～5/17		18名

3) 和牛入門ゼミナールの開催について

和牛登録業務の初心者、新任者を対象に、審査・登録実務研修と改良に関する講習会に分けて開催し、登録業務・審査の周知と和牛改良の基礎知識の修得など若手技術者の養成に努めました。

審査・登録実務研修

実習の部	期間	会場	受講者数
東日本	10/15～10/18	福島県西白河郡 独立行政法人家畜改良センター中央畜産研修施設	37名
西日本	12/17～12/20	岡山県真庭市 J A全農おかやま総合家畜市場	53名

改良の基礎研修

講義の部	期間	会場	受講者数
全体	7/10～7/11	京都府京都市 全国和牛登録協会	76名

4) 支部・支所職員事務研修会の開催について 7月1日～2日 (47名)  
登録支部・支所・委託団体の登録担当者を対象者として、登録事務を正確並びに円滑に遂行するため、研修を行いました。

5) 第24回和牛育種・改良問題セミナーの開催について  
令和2年1月8日 (46名)  
育種改良にかかわる支部・支所・委託団体関係者を対象として、ゲノミック評価の利用等にかかわる調査報告を行いました。

6) 全国支部長会、地方ブロック会議の開催について

(1) 全国支部長会並びに登録協議会の開催

全国支部長会並びに登録支部主任者会議 令和元年12月6日 (第73回)

登録協議会 令和2年1月22日 (第73回)

(2) 地方ブロック会議の開催について

和牛登録事業の円滑厳正な遂行、和牛の改良増殖に資することを目的として、ブロック毎に開催し、令和元年度事業の実施計画等について説明し、審査眼の統一を図るために審査研修を行いました。

ブロック	期 日	会 場	参加者数
東部地区	5/23～5/24	青森県野辺地町・七戸町	124名
中部地区	5/13～5/14	福井県小浜市・若狭町	45名
中四国地区	5/23～5/24	岡山県真庭市	110名
九州地区	5/9～5/10	長崎県島原市・雲仙市	173名

#### 4. 普及啓発事業

1) 第12回全国和牛能力共進会について

第12回全国和牛能力共進会の審査基準策定及び最終比較審査会場の行事日程等検討のためのプロジェクト会議(4/5、9/20)を開催しました。また、第12回全共第2回全国連絡協議会(1/23)を開催し、各道府県の出品割当頭数の報告、共進会規則と負担金、最終比較審査会場の行事日程等について説明を行いました。

2) 各道府県共進会について

各道府県で開催される共進会に対して、派遣申請に応じて審査委員の派遣を行いました。

3) 高校生を対象とした家畜審査競技会について

各県単位で取り組まれる家畜審査競技会に対して審査委員を派遣するなど支援を行いました。

4) トレーサビリティシステムと登記・登録情報の連携

家畜改良センターの個体識別情報検索サービスと連携する登記・登録牛確認シス

テムを運用しました。また、畜産物輸出促進協議会と連携をとり、トレーサビリティシステムと登録情報、枝肉格付情報からなる和牛品質情報システムの運用に寄与しました。

#### 5) 各種刊行物

- (1) 登録簿 7巻（基本4巻、本原3巻）  
※電子媒体（DVD）にて発行
- (2) 和牛誌 4冊（70巻1号～4号）
- (3) 和牛だより 1回（第49号）
- (4) 和牛産肉能力検定報告書  
（平成30年度直接法、平成30年度承認分現場後代検定法）

#### 5. その他

「多様な改良情報の収集・分析等対策」を利用し、枝肉データ収集が行われ、産肉能力評価に活用されています。なお、国の施策に基づく「地域固有系統の再構築支援対策」、「肉用牛の生産性評価精度向上推進事業」、「和牛の遺伝的多様性等活用調査研究事業」、「牛肉のうま味成分高付加価値化推進調査研究事業」等、和牛の登録事業と改良に資する事業を受託し、実施しました。

## II. 運営管理の部

### 1. 会員および賛助会員について

会員数は46,909名（前年度比96.7%）、前年度実績比1,583名減少しました。賛助会員については、中央団体12団体、地方団体40団体、個人23名でした。

### 2. 会議等の開催について

#### 1) 第73回通常総会 令和元年6月21日

##### [報告事項]

- 第1号報告 平成30年度事業成績報告
- 第2号報告 令和元年度事業計画報告
- 第3号報告 令和元年度収支予算報告

##### [提出議案]

- 第1号議案 平成30年度財務諸表承認の件
- 第2号議案 令和元年度会費並びに登録関係諸料金徴収方法承認の件
- 第3号議案 令和元年度役員報酬承認の件
- 第4号議案 役員改選の件
- 第5号議案 付帯決議の件

2) 理事会 第196回 令和元年6月5日

[審議事項]

- 第1号議案 平成30年度事業報告について
- 第2号議案 平成30年度財務諸表について
- 第3号議案 資産取得資金及び特定費用準備資金の設定
- 第4号議案 理事の補充に伴う候補者の推薦について
- 第5号議案 第73回通常総会の開催について
- 第6号議案 令和元年度社員選挙における選挙区について
- 第7号議案 第12回全国和牛能力共進会について

[報告事項]

- 1) 平成30年度会員並びに登録関係統計
- 2) 支部長の交代について
- 3) 令和元年度のおもな行事計画について

第197回 令和元年6月21日

[審議事項]

- 第1号議案 令和元年度理事報酬の決定について
- 第2号議案 令和元年度社員選挙における選挙区域について

第198回 令和元年11月26日

[審議事項]

- 第1号議案 令和元年度上半期事業実施状況について
- 第2号議案 令和2年度事業計画骨子(案)について
- 第3号議案 認定改良組合及び育種組合表彰等について
- 第4号議案 第12回全国和牛能力共進会について
  - 1) 種牛会場の表記変更について
  - 2) 道府県出品割り当て頭数の決定について
  - 3) 負担金の考え方について
- 第5号議案 家畜改良増殖法にかかわる事項について

[報告事項]

- 1) 業務執行状況報告
- 2) 平成30年度期末監査に基づく監事指摘事項の回答について
- 3) 内閣府による立入検査の実施について
- 4) 台風19号にかかわる被害状況等について
- 5) 社員選挙結果について
- 6) 支部長の交代について



第 199 回 令和 2 年 3 月 27 日（理事会の決議があったものとみなされた日）

[審議事項]

- 第 1 号議案 令和 2 年度事業計画について
- 第 2 号議案 令和 2 年度収支予算について
- 第 3 号議案 第 12 回全国和牛能力共進会規則について
- 第 4 号議案 役員改選に伴う役員候補者の道府県割当について
- 第 5 号議案 登録業務負担金及び改良事業負担金について
- 第 6 号議案 パートタイム労働者の就業規則の一部改正について

[報告事項]

- 1) 業務執行状況報告
- 2) 社員補欠選挙の結果について
- 3) 令和 2 年度事務局体制について

3) 監事会 1 回（6 月 22 日）

[審議事項]

- 第 1 号議案 令和元年度監事報酬の決定について

4) 監査会 2 回（6 月 4 日、11 月 25 日）

5) 公認会計士による会計指導 6 回

（4 月 18 日、5 月 29 日、5 月 30 日、9 月 5 日、12 月 17 日、2 月 10 日）

6) 支部評議会、支部調査会、支所評議会、支所調査会等開催

7) 社員選挙

8 月 18 日を選挙日として社員選挙を行い、社員 60 名が選出された。

#### 4. 理事及び監事の氏名等

役職名	氏名	就任年月
会長理事（常勤）	向井 文雄	H20.8
副会長理事（非常勤）	高橋 修	H26.6※ <sup>1</sup>
専務理事（常勤）	穴田 勝人	H28.7
理事（非常勤）	北村 健	H26.6
理事（非常勤）	小野寺 敬作	H30.6
理事（非常勤）	木内 康文	H30.6
理事（非常勤）	渡部 幹雄	H20.7
理事（非常勤）	川崎 裕司	H28.7
理事（非常勤）	永山 芳宏	R1.6
理事（非常勤）	平木場 宗一	H20.7
理事（非常勤）	鮫島 忠雄	H30.6
監事（非常勤）	高嶺 英康	H22.7
監事（非常勤）	猪股 孝二	H27.6

※1 理事就任 H23.7

## 5. 支部・支所一覧

支部名	所在地
青森県	上北郡七戸町字鶴児平 72-1
岩手県	岩手郡雫石町七ツ森 20-1
宮城県	遠田郡美里町北浦字生地 22-1
秋田県	秋田市中通 6 丁目 7 番 9 号 畜産会館 6F
山形県	天童市長岡北 4-7-30
福島県	郡山市田村町金屋字川久保 23 番地
茨城県	常陸大宮市鷹巣 1836-1
石川県	金沢市古府 1 丁目 217 番地
福井県	福井市高木中央 2-4202 県経済連総合施設センター
岐阜県	岐阜市下奈良 2-2-1 県福祉農業会館
三重県	津市一身田平野字護摩田 6
京都府	京都市中京区壬生東高田町 1-15
兵庫県	神戸市西区玉津町居住 88 番
島根県	松江市殿町 19-1 島根県農林会館別館 3F
岡山県	真庭市草加部 1810
徳島県	徳島市北佐古一番町 61-11JA 会館分室
佐賀県	多久市北多久町小侍 1951-1
長崎県	長崎市銭座町 3-3
熊本県	熊本市東区桜木 6-3-54 県畜産会館
大分県	大分市大字古国府 1220 番地 全農大分県本部別館 2 階
宮崎県	宮崎市広島 1-13-10 県畜産会館
鹿児島県	鹿児島市鴨池新町 15 JA 鹿児島県会館 7F

支所名	所在地
県北	平戸市田平町大久保免 1544 JA ながさき西海 平戸口中央家畜市場内
壱岐	壱岐市芦辺町国分東触 706 JA 壱岐市畜産部内
五島	五島市吉久木町 938 JA ごとう畜産事業所内
宮崎中央	宮崎市大字跡江土手外 198 JA 宮崎中央内
南那珂	串間市大字大平 5677 JA はまゆう内
都城	都城市上川東 3-4-1 JA 都城内
西諸県	小林市大字南西方 1112 西諸県郡市畜連内
児湯	児湯郡新富町大字新田北畦原 21696-1 児湯郡市畜連内
東臼杵	延岡市櫛津町 3060 東臼杵郡市畜連内
西臼杵	西臼杵郡高千穂町大字三田井 1 番地 JA 高千穂地区内
曾於	曾於市大隅町岩川 5591-1 JA そお鹿児島畜産部内
大島	奄美市名瀬永田町 17-3 大島支庁農政普及課内

## 6. 事業委託団体一覧

道県名	団体名	所在地
北海道	一般社団法人北海道酪農畜産協会	札幌市中央区北四条西1-1 JA北農ビル13F
栃木県	公益社団法人栃木県畜産協会	宇都宮市平出工業団地6-7 県畜産会館内
群馬県	公益社団法人群馬県畜産協会	前橋市亀里町1310番地
埼玉県	一般社団法人埼玉県畜産協会	熊谷市須賀広784
千葉県	千葉県肉牛生産農業協同組合	千葉県若葉区若松町432-35 県家畜商協同組合内
東京都	全国農業協同組合連合会東京都本部	立川市柴崎町3-5-24
山梨県	山梨県家畜改良協会	中巨摩郡昭和町西条3852-3 県酪農会館内
新潟県	全国農業協同組合連合会新潟県本部	新潟市西区山田2310番地15
富山県	公益社団法人富山県畜産振興協会	富山市手屋3-10-15 県獣医畜産会館内
長野県	全国農業協同組合連合会長野県本部	長野市大字南長野北石堂町1177-3
神奈川県	神奈川県肉用牛協会	平塚市土屋1275-1 全農神奈川県本部畜産部
静岡県	静岡県経済農業協同組合連合会	静岡市駿河区曲金3-8-1
愛知県	愛知県和牛改良協会	名古屋市中区丸の内3-4-10 大津橋ビル
滋賀県	一般社団法人滋賀県畜産振興協会	近江八幡市鷹飼町北四丁目12番地2
奈良県	奈良県農業協同組合	奈良市大森町57-3 農協会館
和歌山県	公益社団法人畜産協会わかやま	和歌山市美園町5-1-1 和歌山県JAビル5F
大阪府	大阪畜産農業協同組合	堺市南区畑1627
鳥取県	公益社団法人鳥取県畜産推進機構	鳥取市末広温泉町723 JA会館内
広島県	全国農業協同組合連合会広島県本部	三次市西酒屋町大久保513
山口県	公益社団法人山口県畜産振興協会	山口市小郡下郷2139番地
香川県	香川県農業協同組合	高松市一宮町字刷塚1431-1
愛媛県	公益社団法人愛媛県畜産協会	松山市千舟町6-5-9
高知県	一般社団法人高知県畜産会	高知市五台山5015-1
福岡県	公益社団法人福岡県畜産協会	福岡市博多区千代4-1-27 県自治会館4F
沖縄県	公益社団法人沖縄県家畜改良協会	島尻郡八重瀬町字外間106-2

## Ⅲ. 収益事業の部

登録会館の賃貸業として収益事業を実施しています。賃貸契約については、1階入居者と賃貸契約を締結しています。また、地下1階及び2階については、随時会議室として貸し出しを行いました。

## 令和元年度（平成 31 年度）事業報告の附属明細書

令和元年度（平成 31 年度）事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。